

# 新小岩公園再整備事業

## 第4回説明会

—レクリエーション・防災の拠点を目指して—

### 本日の説明内容

1. これまでの振り返り
2. 基本設計コンセプト
3. ゾーニング
4. 全体配置計画及び各施設
5. 植栽計画
6. 屋内施設
7. 今後のスケジュール
8. 質疑応答

### 開催日時と場所

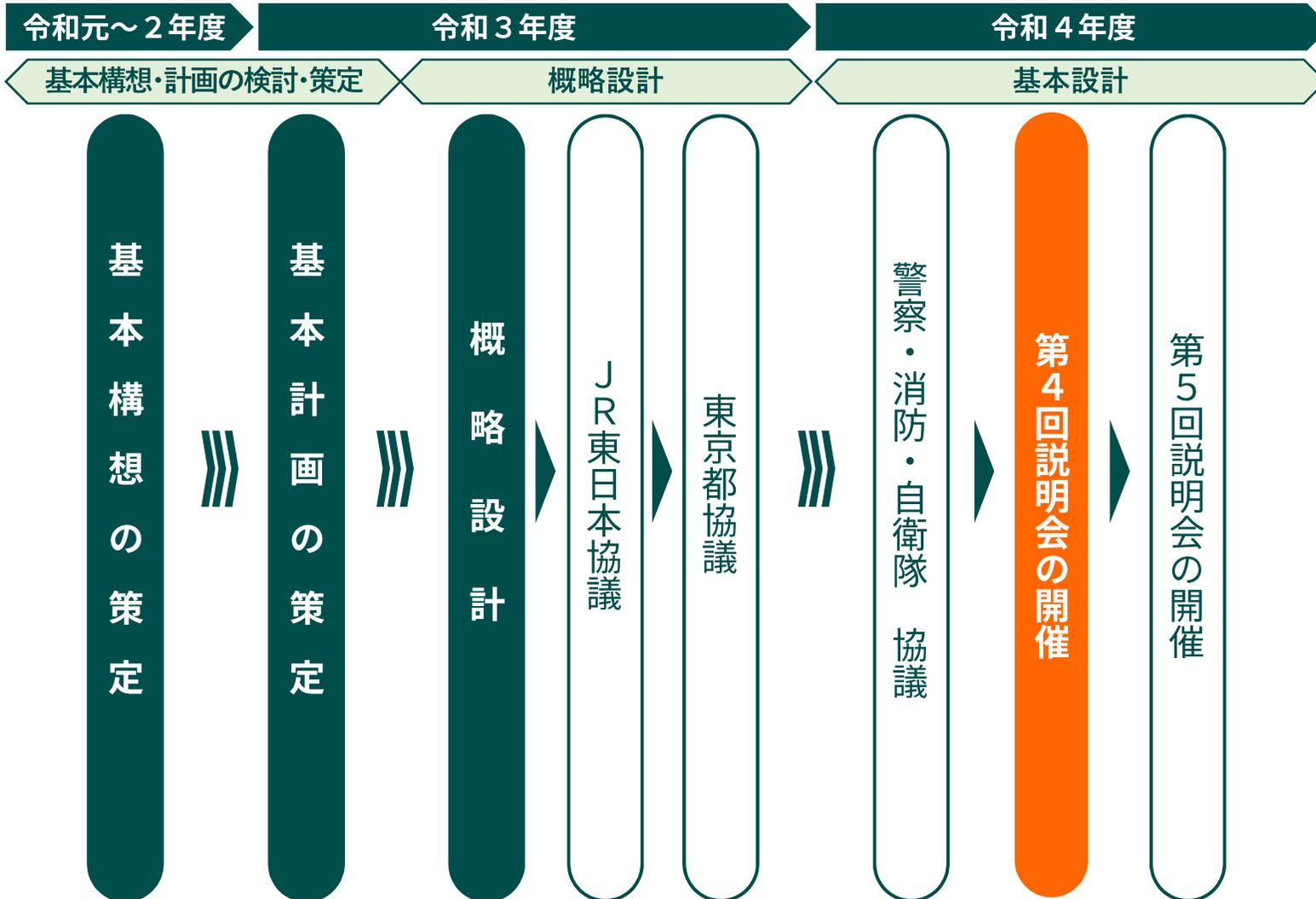
令和4年11月21日(月)  
19:00～20:30  
新小岩地区センター  
4階ホール

1

これまでの振り返り

# これまでの振り返り

1-1



# 基本計画

1-2

## 新小岩公園再整備基本計画

### 地域のみなさまのご意見をより具体的に反映した基本計画を作成しました

令和2年10月に策定いたしました「新小岩公園再整備基本構想」に基づき、引き続き検討会を開催し、地域のみなさまのご意見をより具体的に反映した「新小岩公園再整備基本計画」を作成しました。

本基本計画は、憩い・賑わい空間であり、かつ、多様な災害に対応した応急活動拠点となる新小岩公園の再整備に向けた基本機能と整備方針について取りまとめたものです。

### 基本構想

#### 理念～「未来志向の公園づくり」～

より多くの地域住民・世代に親しまれ、多様な災害に対応した応急活動拠点（水害時等の受援拠点）としての防災機能を有し、公園内外の回遊性も有するなど、地域の街づくりとも連携した「未来志向の公園づくり」を目指します。

#### 基本方針

##### 防災機能の強化

地震・風水害・その他大規模災害等の多様な災害に対応した応急活動拠点（水害時等の受援拠点機能）を有する公園とします。

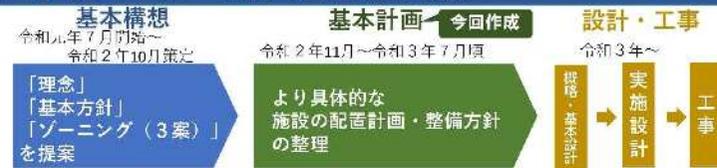
##### 憩い・賑わい空間の創出

多様なスポーツ、健康促進、地域イベント活動、憩いの場、緑とふれあう場となるなど、より多くの地域住民・世代に親しまれ、賑わいを創出する公園とします。

##### まちと共に発展

公園周辺地域における民間・公共施設の整備や街づくりの取組と連携し、多様な社会ニーズに対応するなど、長期的発展を目指した公園とします。

### スケジュール ～令和3年度から設計の検討へ～



### 基本計画の前提条件

#### 東京都の緩傾斜型堤防整備事業との連携

東京都の緩傾斜型堤防整備事業と連携し、周辺道路（歩道）からアクセスしやすく、災害時（水害時等）に高台へのアクセスが可能な都道交差点部（橋詰部）とします。

#### 各機能の保全・更新

スポーツ、自然・遊び、賑わい、受援拠点等の各機能を備え、将来の社会ニーズに柔軟に対応できる施設配置とします。

#### 周辺環境を踏まえたその他条件

平時の公園利用者、緑やイベントを行えるオープンスペース、周辺環境などと整合した計画とします。



緩傾斜型堤防と一体的な高台ゾーンの整備イメージ

新小岩公園の再整備イメージ

# 基本計画

1-3

## 基本機能と整備方針

### ①緩傾斜型堤防

**緩傾斜型堤防整備事業との連携**  
東京都の緩傾斜型堤防整備事業と連携し新小岩公園再整備を行います。

### ②高台広場

**斜面と一体的な芝生広場（平時）**  
日常の遊び場や見晴らしの良い憩いの場からイベント活用まで、斜面と一体的に活用できる芝生広場とします。



**多機能防災拠点（水害時等）**  
都道と一体的な高台を整備し、水害時等は対岸ネットワークや高速道路を利用した多機能防災拠点とします。



### ③斜面広場

**緩やかな斜面がある  
小さな子どもも遊べる広場**  
高台広場と自然・遊び広場をつなぐ緩やかな斜面の広場で、地形を活かして小さな子どもも遊ぶことのできる広場とします。



### ④自然・遊び広場

**様々なイベント利用ができる緑と遊びの広場**  
イベント時の利用を想定し、広場中央の空間を広く確保し、木陰空間や遊具を配置するなど自然を感じながら遊び憩える芝生広場とします。



### ⑧バリアフリー園路

**高台部へ繋がるバリアフリー園路**  
公園外周部に高台部へ繋がるバリアフリー園路を確保します。



### ⑤屋内施設・賑わい広場

**災害用資機材倉庫等の防災機能を備えた施設**  
水害時にも高台からアクセス可能な位置（建物2階）に災害用資機材倉庫等の防災機能を備えます。  
**公園を広く見渡せる休憩スペース**  
多目的スポーツ広場や自然・遊び広場を見渡すことのできる休憩スペースとします。  
**高台とのアクセス確保**  
建屋内にエレベーターを整備し、高台とのバリアフリー動線を確保します。



### ⑥多目的スポーツ広場

**野球・フットサル等のスポーツができる広場**  
軟式野球（学童）、フットサル等の規格に対応した多目的のスポーツ広場とします。  
**イベントができる広場**  
日常のスポーツ利用だけでなく、イベント活用にも対応した広場とします。



### ⑦小規模スポーツ広場

**硬い舗装でのスポーツができる広場**  
3on3やスケートボード等を想定して、硬い舗装の仕様とし、フェンスで囲われた広場を2区間設けます。



### ⑨エントランス ⑩新小岩駅北口とのアクセス

**エントランスの演出**  
賑わいのあるエントランスの演出とします。  
**街づくりとの連携**  
新小岩駅北口とのアクセスについて、街づくりとの連携を図ります。



# 2

## 基本設計コンセプト

守

## 防災機能の強化

---

地震・風水害・その他大規模災害等の多様な災害に対応した応急活動拠点（水害時等の受援拠点機能）を有する公園とします。

地域への防災機能の理解を広め、地域住民の防災意識の向上に寄与する公園とします。

愛

## 憩い・賑わい空間の創出

多様なスポーツ、健康促進、地域イベント活動、憩いの場、緑とふれあう場となるなど、より多くの地域住民・世代に親しまれ、賑わいを創出する公園とします。

ひとりでも居られるパーソナルな場も創出し、地域住民一人ひとりの日常を豊かにする公園とします。

育

## まちと共に発展

公園周辺地域における民間・公共施設の整備や街づくりの取組と連携し、多様な社会ニーズに対応するなど、長期的発展を目指した公園とします。

新小岩公園の立地や生活動線としての機能を活かし、周辺地域をつなぎ、日常生活の延長線上となる公園とします。

- 守 防災機能の強化
- 愛 憩い・賑わい空間の創出
- 育 まちと共に発展

これらの取り組みや新小岩エリアの地域性や風土などを取り入れることにより、地域住民の拠り所として「誇り」や「愛着」を創出し、  
**「まちのシンボルとなる公園」**とします。

3

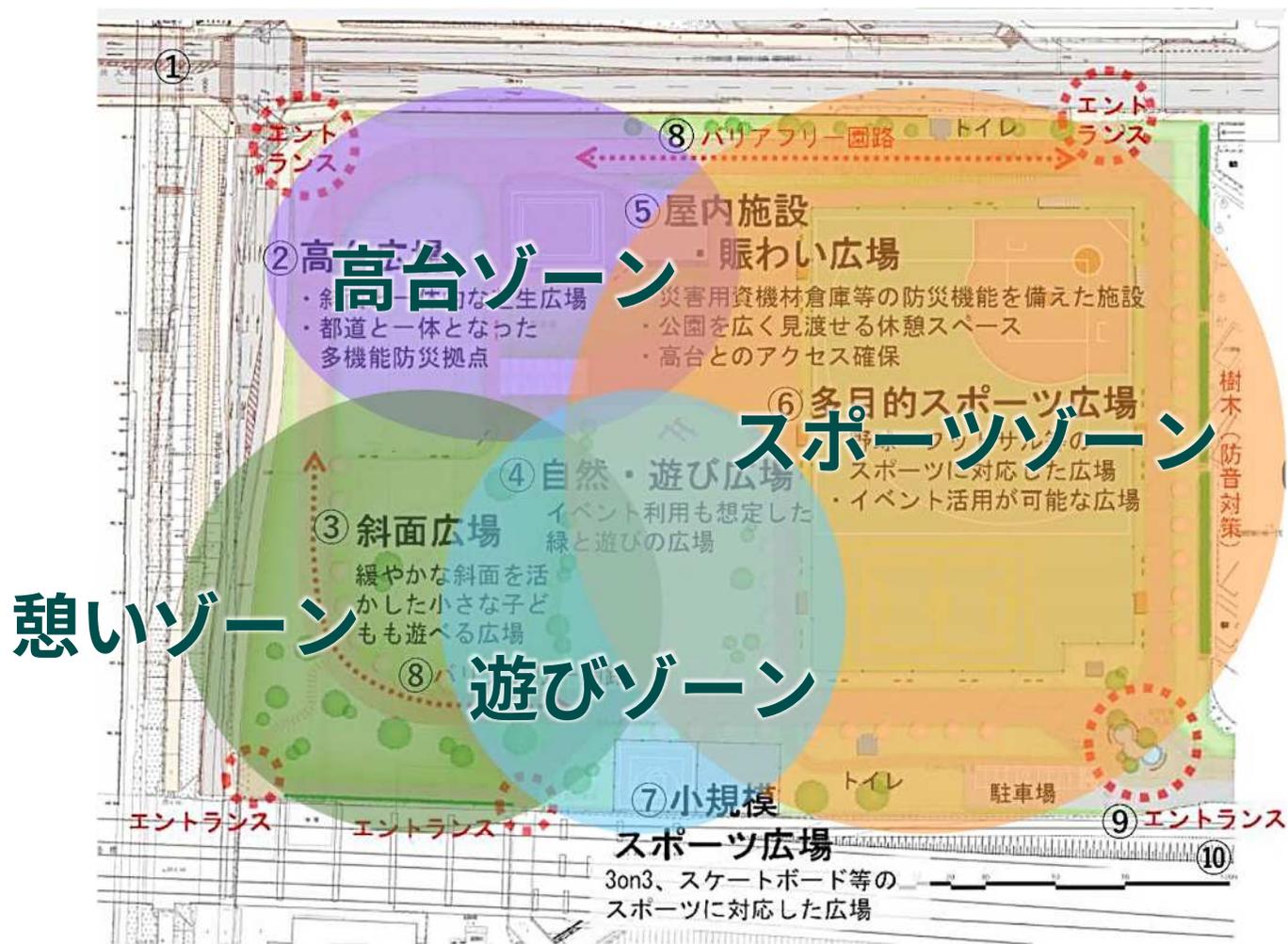
ゾーニング

## 基本計画段階の図面



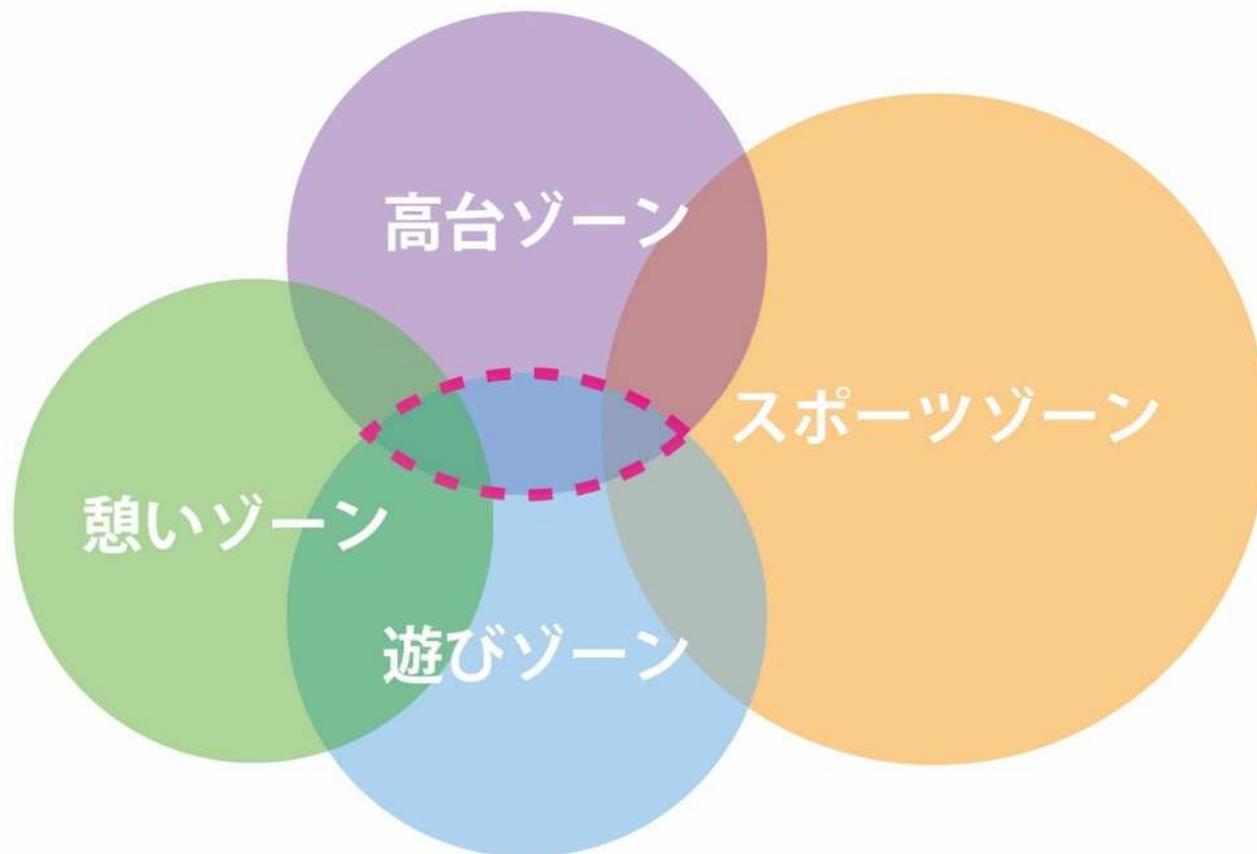
# 基本計画図

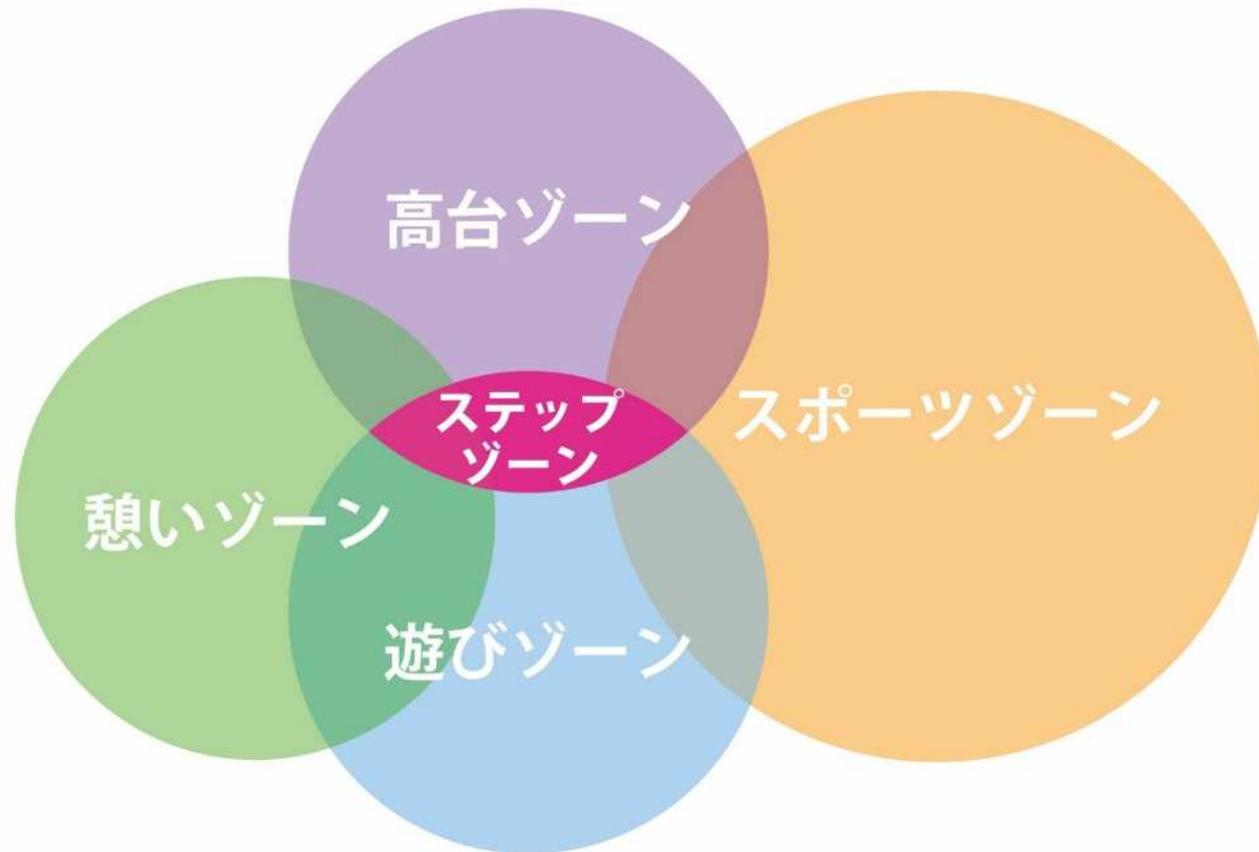
3-2



# ゾーニング

3-3





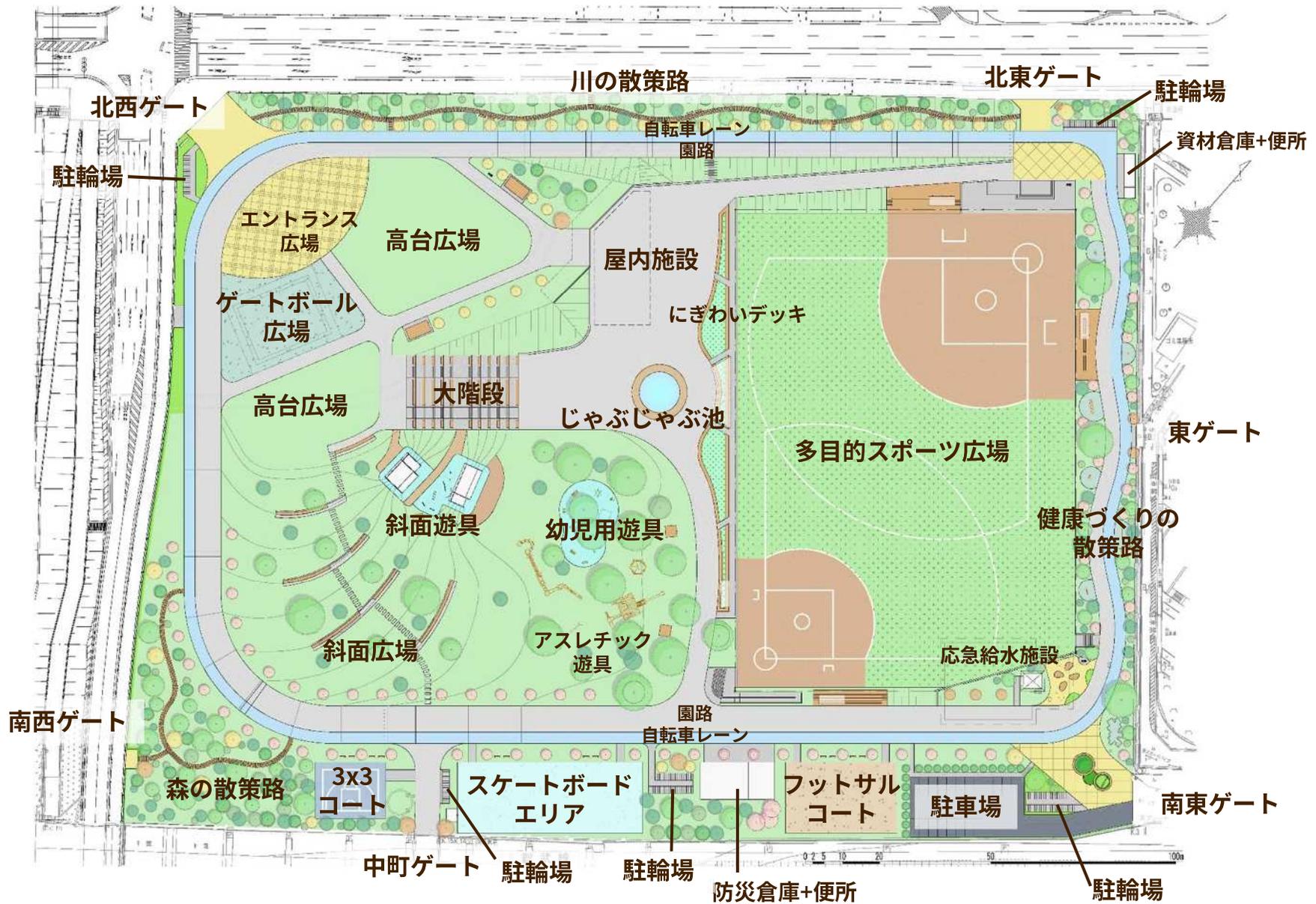
中心に位置し、各ゾーンとつながる重要な要素

# 4

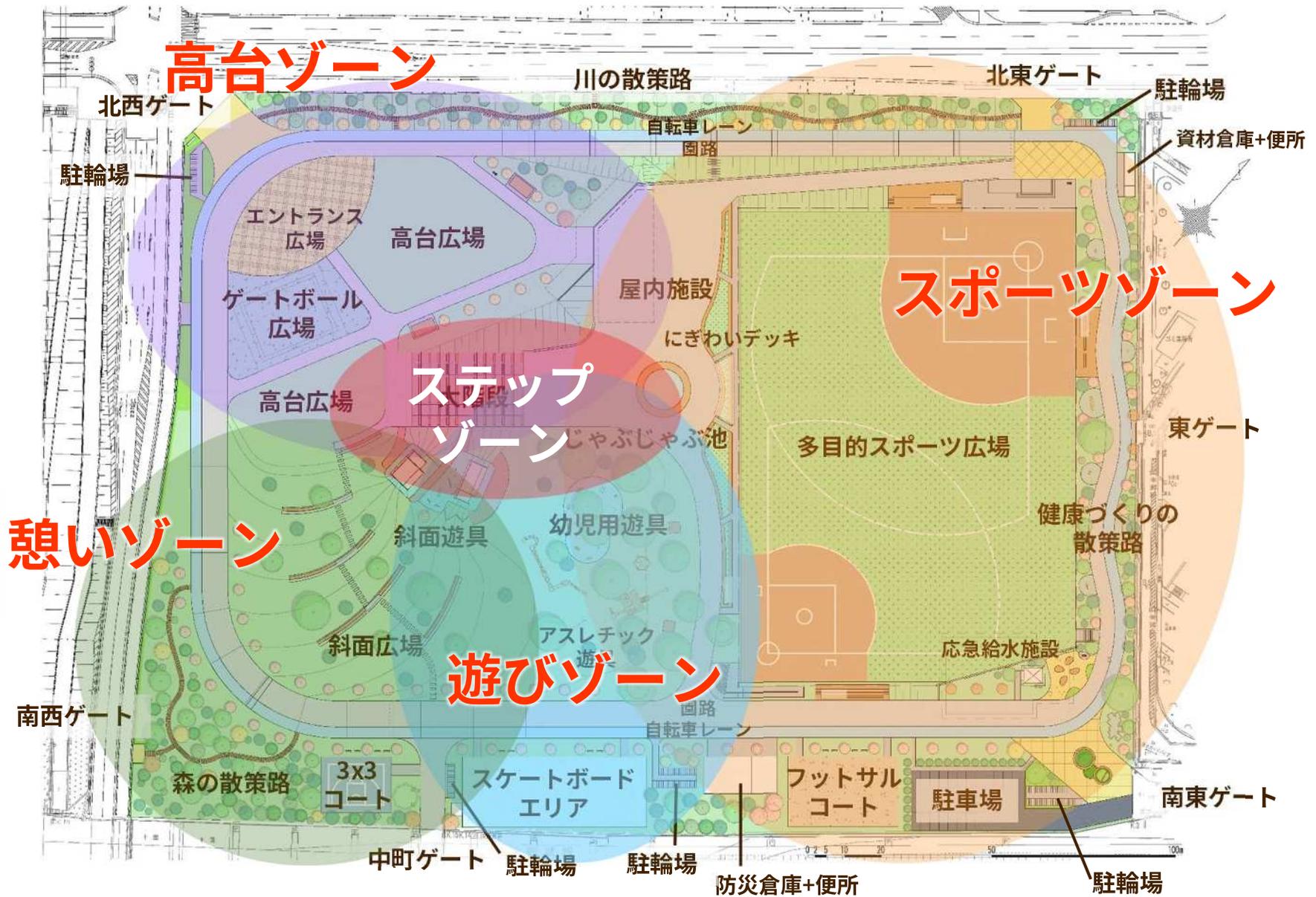
## 全体配置計画及び各施設

# 全体配置計画図

4-1



# 全体配置計画図

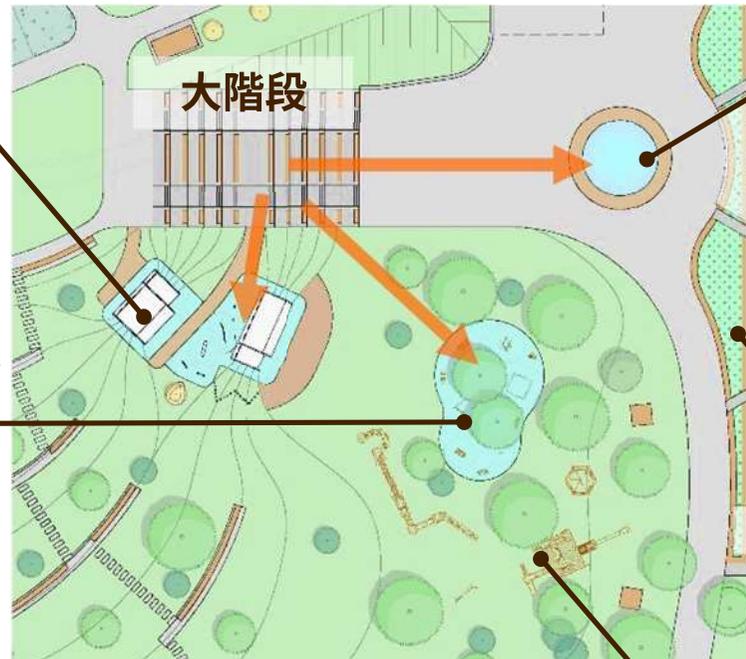


## 斜面遊具

約5mの高低差のある斜面を活かした遊具を設置

## 幼児遊具エリア

- ・ 既存ケヤキの緑陰を活かした低年齢を対象とした遊具を配置
- ・ 児童との衝突防止など安全面に配慮



## じゃぶじゃぶ池

- ・ 夏の遊び場として遊びゾーンに配置
- ・ 舗装と地続きとし、夏以外は広場としても活用

## にぎわいデッキ

- ・ じゃぶじゃぶ池やアスレチック遊具などで遊ぶ子どもを見守ることができるデッキ
- ・ イベント時の休憩スペースとしても活用

## アスレチック遊具

- ・ 児童を対象としたアスレチック遊具を樹林内に配置

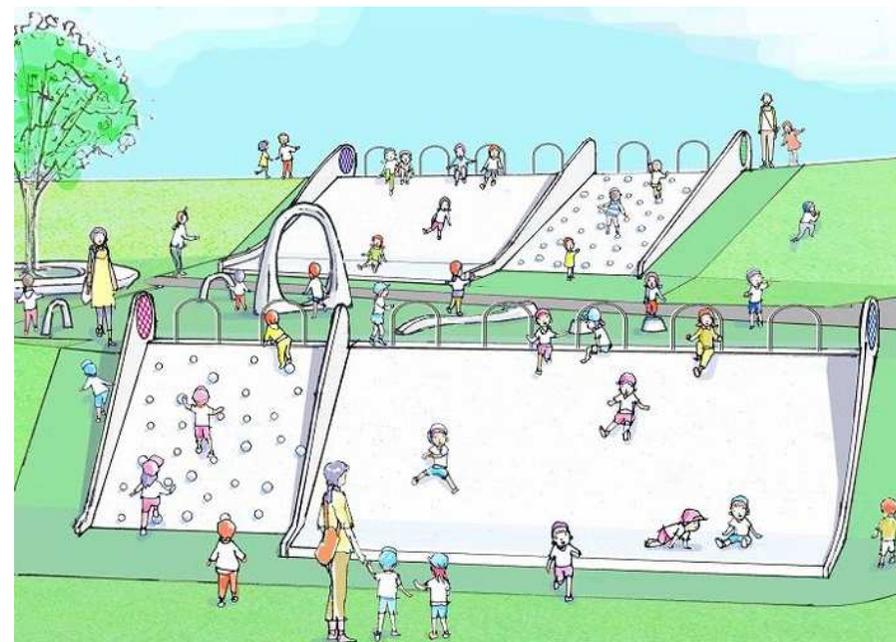
## 遊びゾーンにおける大階段の役割

- ・ 遊具やじゃぶじゃぶ池で遊ぶ子どもを親が見守る場
- ・ じゃぶじゃぶ池の噴水を眺める場
- ・ 親子の休憩の場
- ・ 斜面遊具へのアクセス など

# 遊びゾーン

4-4

## 斜面遊具 参考イメージ



# 遊びゾーン

4-5

## アスレチック遊具 参考イメージ



# 遊びゾーン

4-6

## 幼児用遊具 参考イメージ

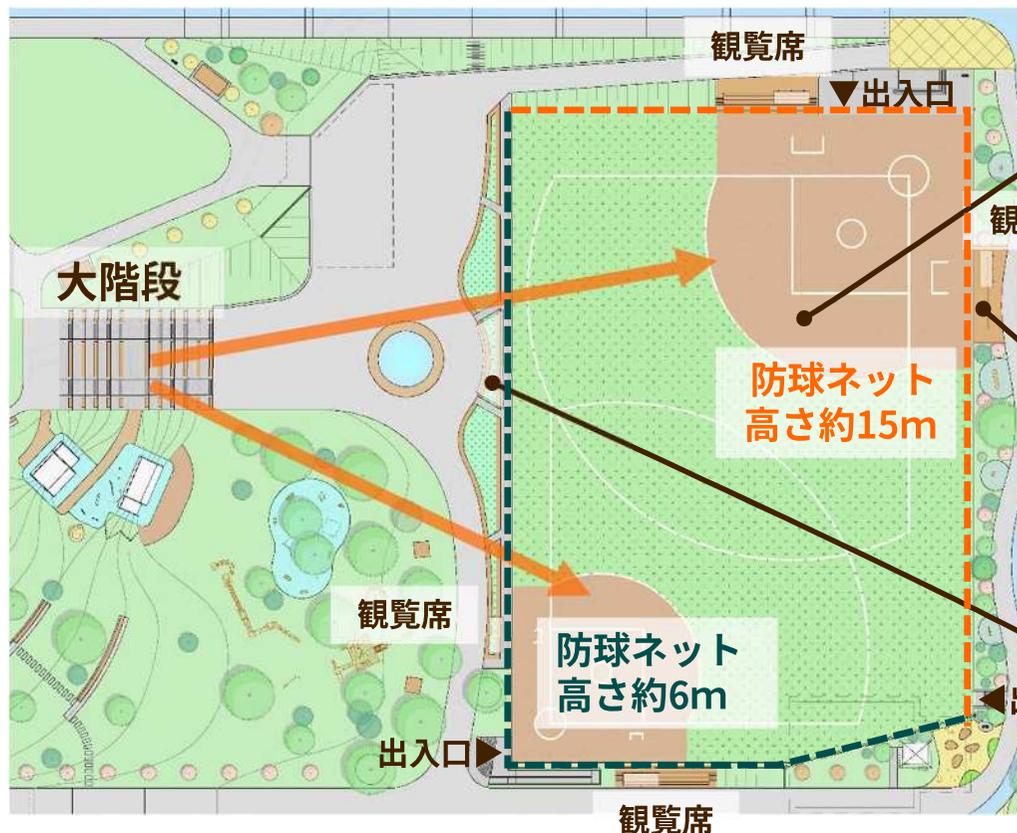


# 遊びゾーン

4-7

## じゃぶじゃぶ池 参考イメージ





## 多目的スポーツ広場

- ・野球場2面を配置できる広さ
- ・天然芝（外野）+土（内野）
- ・雨水一時貯留機能

## 観覧席

- ・南北2つの球場それぞれの1塁側、3塁側に屋根のある観覧、応援スペースを配置

## にぎわいデッキ

- ・スポーツ広場側にも腰掛けてスポーツを眺められるスペースを確保

## スポーツゾーンにおける大階段の役割

- ・野球をはじめとしたスポーツの観戦の場
- ・多目的スポーツ広場利用者の休憩の場など

## 音について

試合中の音を計測した結果、都営住宅周辺では70db以下

(※東京都騒音に係る環境基準における幹線交通を担う道路に近接する空間の等価騒音レベル基準値以下)

# スポーツゾーン

4-9

## 多目的スポーツ広場、観覧席、にぎわいデッキ 参考イメージ



多目的スポーツ広場



観覧席



にぎわいデッキ



にぎわいデッキ (人工芝)

# スポーツゾーン

4-10

## 小規模スポーツエリア

### 3 x 3コート

- ・バスケットボールのハーフコート
- ・3人制バスケットボール規格対応
- ・約19m x 15m



### スケートボードエリア

- ・置き型のバンクや障害物を配置
- ・約50m x 18m

### フットサルコート

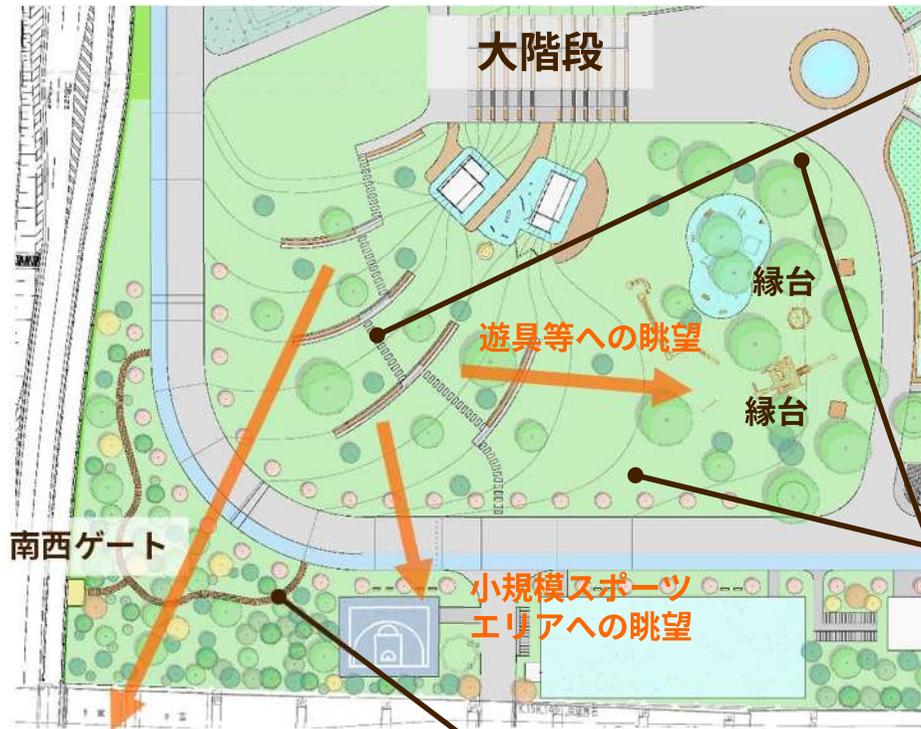
- ・フットサルコート1面
- ・約30m x 18m

# スポーツゾーン

4-11

## 小規模スポーツエリア 参考イメージ





## 斜面広場

- ・ 斜面に合わせた休憩空間
- ・ 樹木を配置し緑陰空間を創出
- ・ 登るにつれ、景色が変化する
- ・ 遊具や小規模スポーツ、電車を眺めることができる
- ・ 中町ゲート付近から高台広場への散策ルート

## 緑陰の憩い空間

- ・ 既存樹や新植する樹木による緑陰空間
- ・ レジャーシートやシェードテント等を置くことができる場

樹木や鉄道への眺望

## 森の散策路

- ・ 樹林の散策ができる自然豊かなエリア
- ・ 南西ゲートと接続

## 自然ゾーンにおける大階段の役割

- ・ 斜面広場や森の散策路で遊ぶ子どもや家族の休憩スペース

# 憩いゾーン

4-13

## 斜面広場 参考イメージ



# 憩いゾーン

4-14

## 緑陰の憩い空間 参考イメージ



# 憩いゾーン

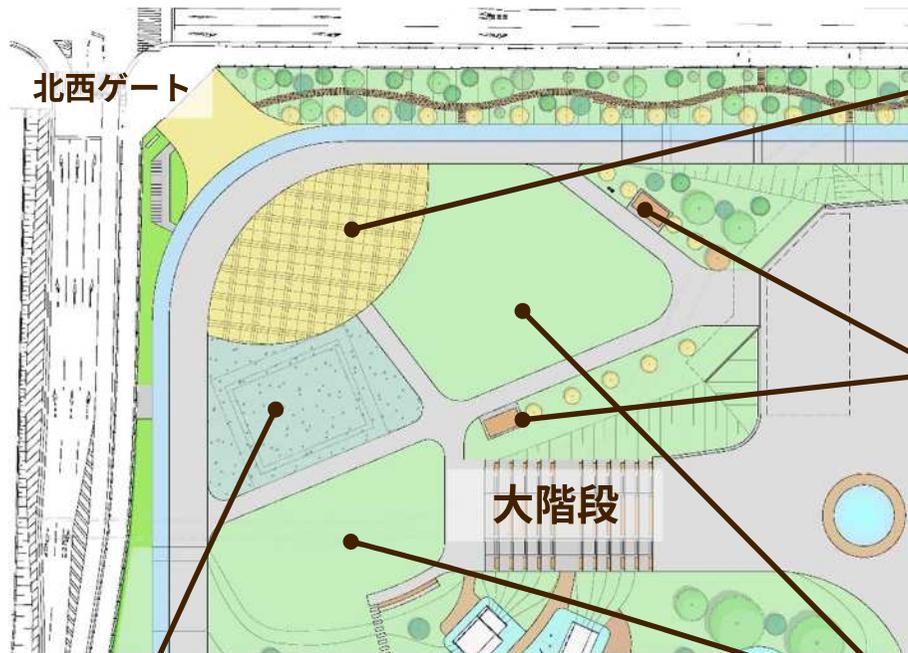
4-15

## 森の散策路 参考イメージ



# 高台ゾーン

4-16



## エントランス広場

- 北西ゲートからのシンボル空間
- 舗装による各種イベントへの対応
- 受援活動時の車両転回スペース

## パーゴラ（防災対応）

- 高台広場、ゲートボール活動の休憩スペース
- 受援活動時のテント

## ゲートボール広場

- ゲートボールに対応したダスト舗装
- 受援活動時のヘリポート

## 高台広場

- フレキシブルに対応できる原っぱ空間
- バドミントンやキャッチボールなどレクリエーションの場
- 受援活動時の各機関活動スペース

## 高台ゾーンにおける大階段の役割

- 高台広場やゲートボール広場での活動時の休憩スペース
- 高台ゾーンとその他のゾーンをつなぐ動線空間 など

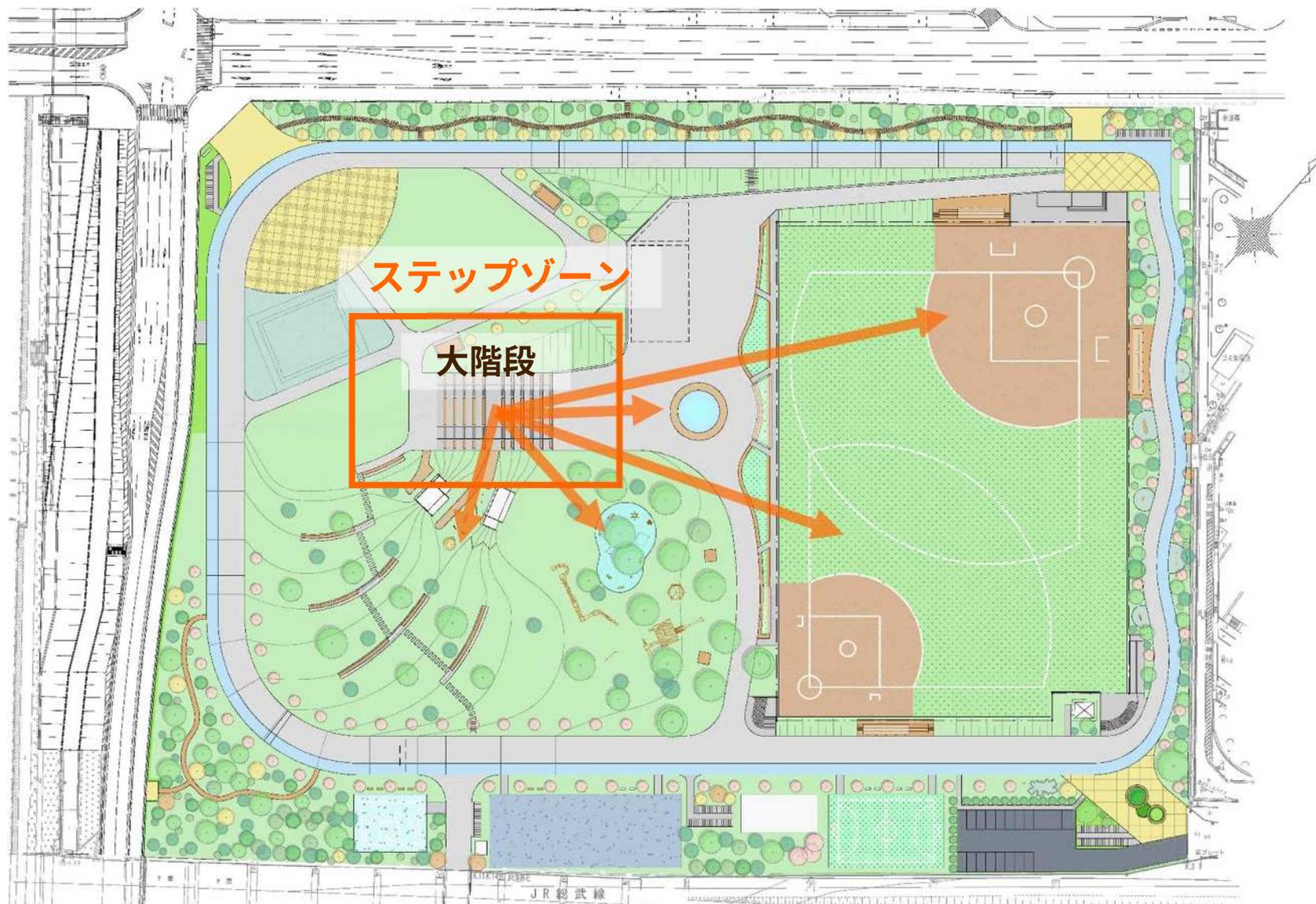
# 高台ゾーン

4-17

## 高台ゾーン 参考イメージ



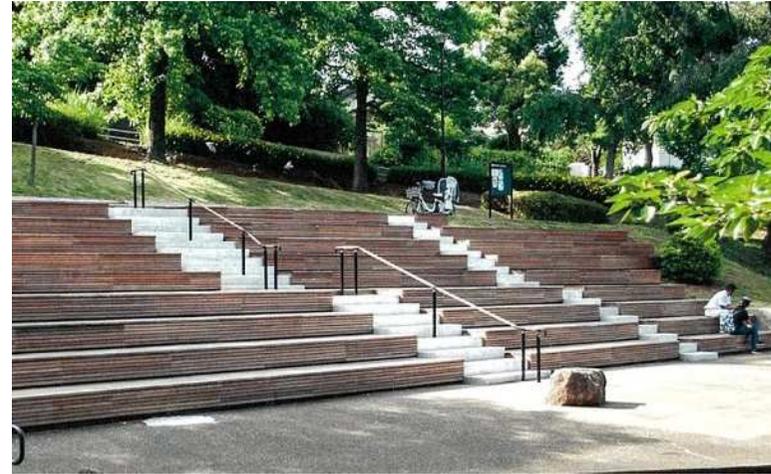
# ステップゾーン



# ステップゾーン

4-19

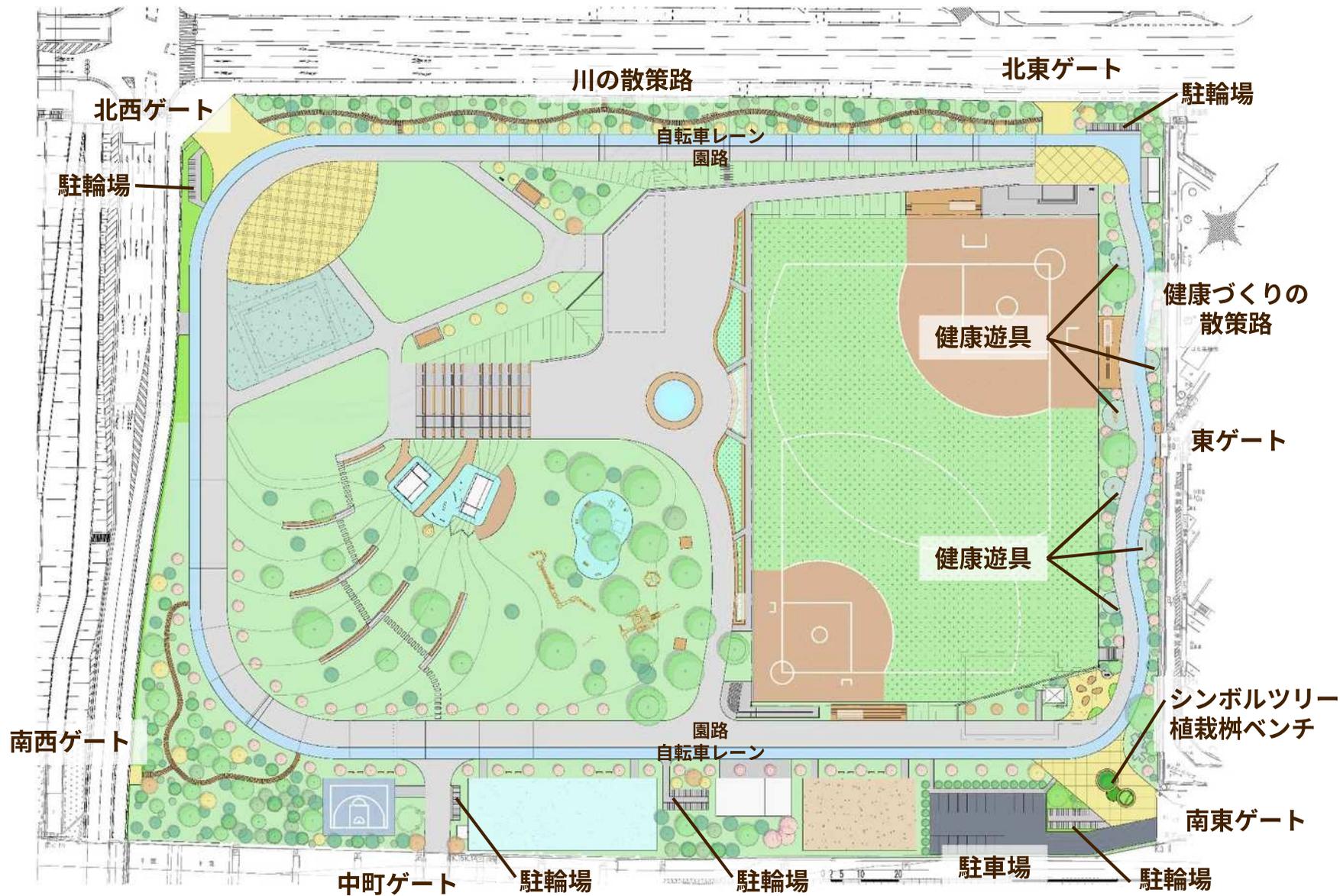
## 大階段 参考イメージ



- スポーツの観覧席
- イベント時の客席
- 休憩場所
- 浸水時の船着場 など

# その他の施設

4-20



# 南東ゲート

4-21

## 植栽柵ベンチ 参考イメージ



- 利用者を出迎えるシンボルツリー
- 待ち合わせ場所や休憩場所となる植栽柵ベンチ

# 散策路

4-22

## 健康づくりの散策路 参考イメージ



## 川の散策路 参考イメージ



# 外周園路・駐輪場

4-23

## 外周園路 参考イメージ



## 駐輪場 参考イメージ



# 5

## 植栽整備方針

## 緑の資産を次世代へ継承し、 四季の移ろいを感じられる植栽計画

### ① 既存樹の整備方針

- 既存樹の保存及び移植による記憶の継承と憩い空間の創出
- サクラの更新による「桜の名所」の継承

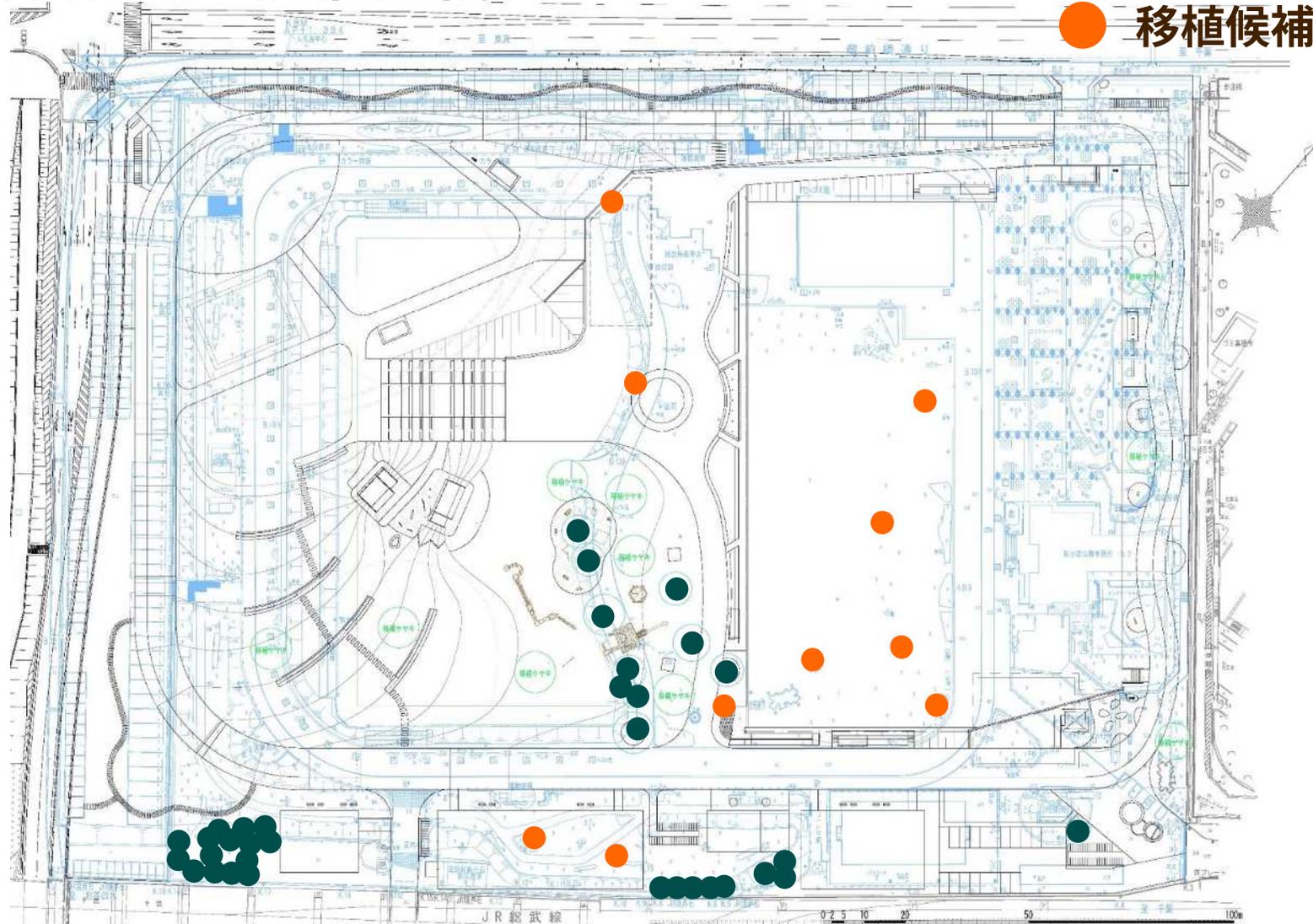


# 植栽整備方針

5-2

## 保存及び移植候補樹

- 保存候補樹
- 移植候補樹



# 植栽整備方針

5-3

## 「桜の名所」を次世代に継承



ソメイヨシノ以外のサクラ類  
・カワヅザクラ  
・サトザクラ など

・ソメイヨシノ  
・ジンダイアケボノ など

花期を長く楽しめる工夫

## 緑の資産を次世代へ継承し、 四季の移ろいを感じられる植栽計画

### ②新植の整備方針

- 花や紅葉など季節ごとに魅力のある樹種の選定
- 環境変化への耐性が強い樹種の選定
- 維持管理の容易さへの配慮

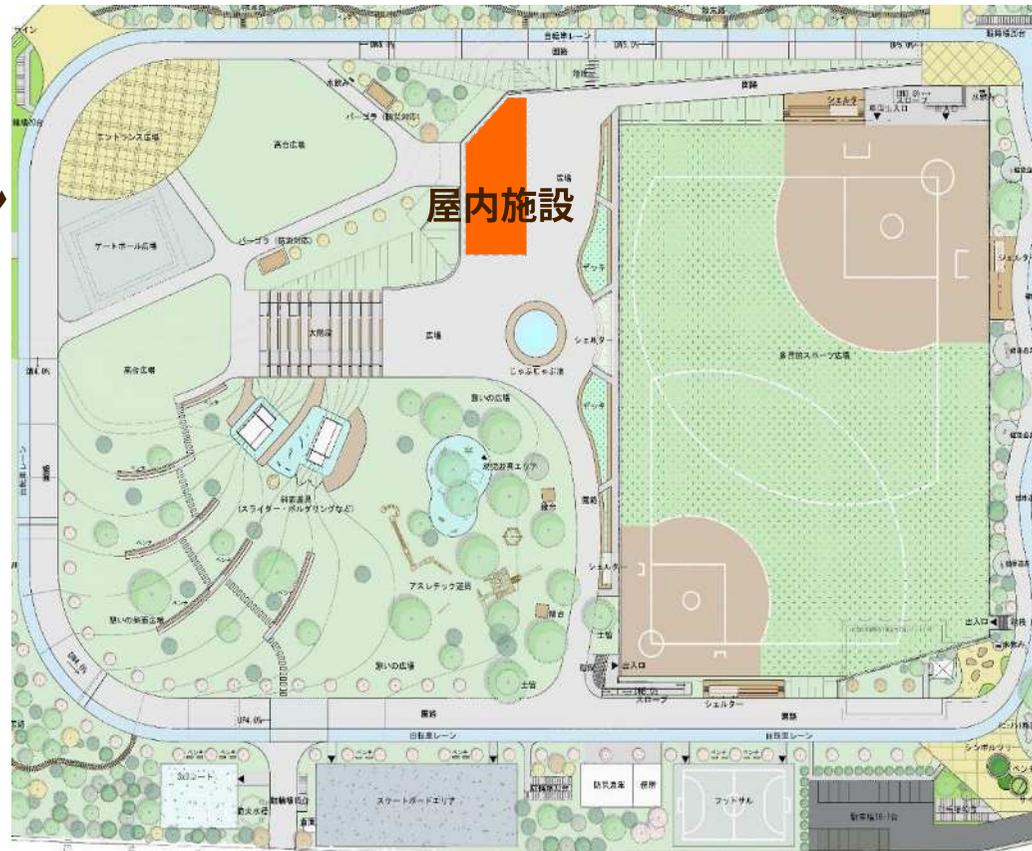


6

屋内施設

## 屋内施設の6つのカテゴリー（機能）

- ① 憩い・賑わい
- ② ユニバーサルデザイン
- ③ 子育て
- ④ フレキシブルな利用
- ⑤ 防災
- ⑥ まちづくりとの連携



## ① 憩い・賑わい

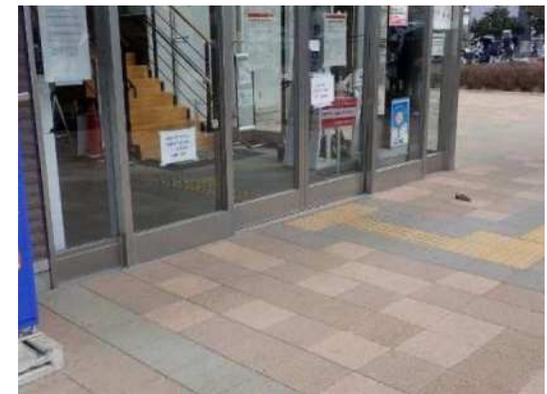
- ・ 見晴らしが良く開放的で休憩場所となる空間を整備する
- ・ イベントなどで屋内外を活用できる賑わいの空間を創出する



参考イメージ

## ② ユニバーサルデザイン

- ・ 高台広場と賑わい広場のバリアフリー動線を確保するため、屋外に24時間対応型のエレベーターを整備する
- ・ だれもが快適に利用できる建築物として整備する



参考イメージ

## ③ 子育て

- 未来を担う子どもたちや子育て世代の利用にも配慮した空間を整備する



参考イメージ

## ④ フレキシブルな利用

- 地域住民やより多くの世代の方々の多様な利用形態に対応可能なよう、柔軟で利便性の高い空間を整備する
- 社会変化や多様なニーズに対応していく空間を整備する



参考イメージ

## ⑤ 防災

- 高台広場での災害時の応急活動（受援活動）に活用される災害用資機材の備蓄などが可能な空間を整備する



参考イメージ

## ⑥ まちづくりとの連携

- 周辺の公共施設整備など変化する地域のまちづくりの取り組みと連携する空間を整備する



参考イメージ

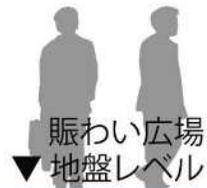
# 屋内施設の概要

6-5

階	ゾーン	用途・内容	
2階	防災倉庫ゾーン	防災倉庫	・ 応急活動の資機材保管
	休憩・展望ゾーン	休憩場所	・ 明るく、見晴らしの良い空間
		展望空間	
	トイレ	男女トイレ	・ 多様な方が利用しやすいトイレ ・ オストメイト対応
バリアフリースペース			
その他	倉庫・階段など		
1階	休憩ゾーン	エントランス	・ 明るく、開放的な空間 ・ テーブル、椅子の配置
		休憩場所(ホール)	
	多目的ゾーン	多目的スペース	・ 地域の集まりやイベント、その他も活用可能な、多目的な空間
	トイレ	男女トイレ	・ 多様な方が利用しやすいトイレ ・ オストメイト対応
バリアフリースペース			
その他	バックヤード・階段など		

屋外エレベーター

- ・ 24時間運用
- ・ 自転車乗り入れ可

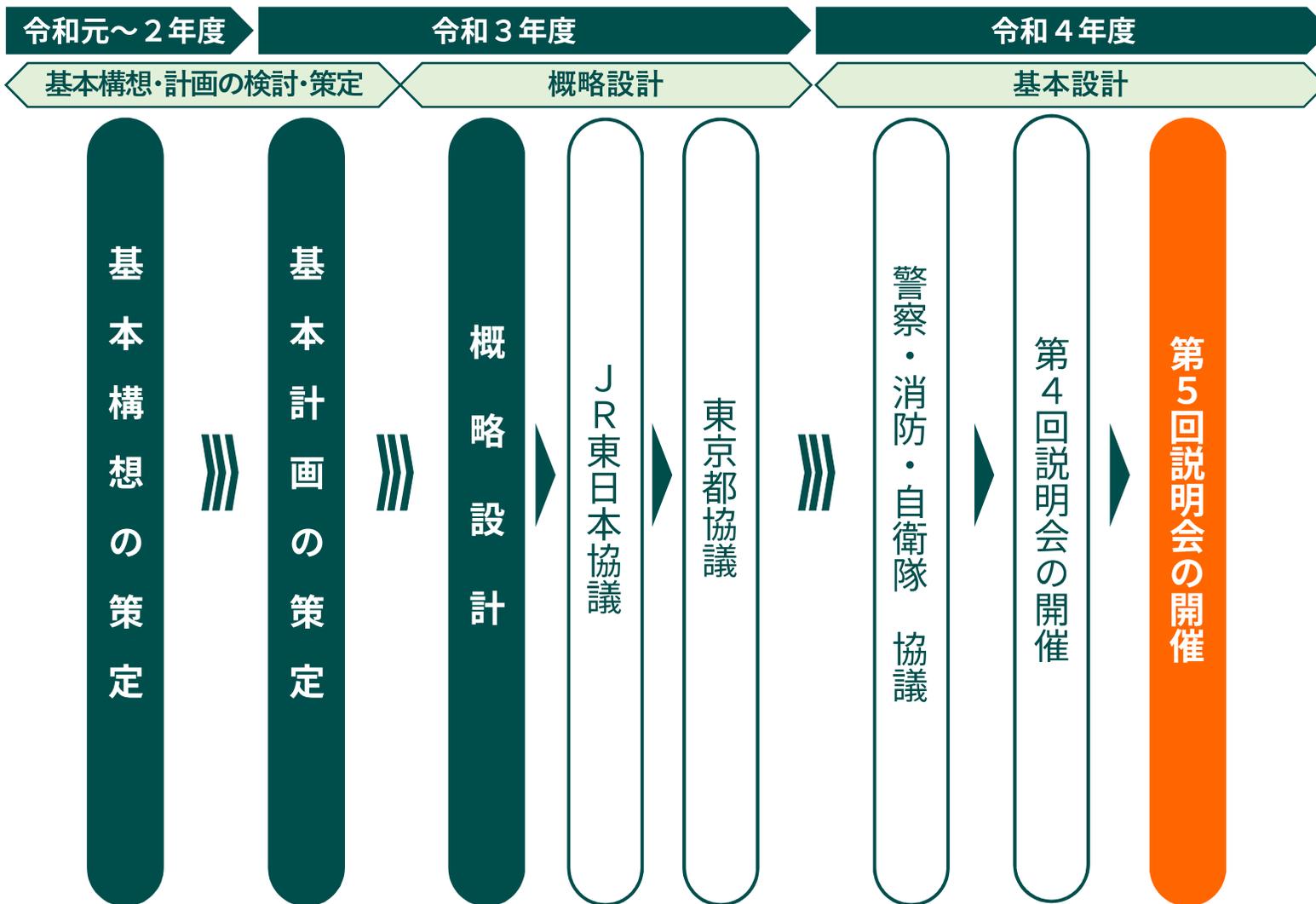


# 7

## 今後のスケジュール

# 今後のスケジュール

7-1



令和5年2月下旬頃を予定

8

質疑応答

